

東北支援活動に大臣感謝状 3次にわたる支援チーム派遣を評価

グループ〈わ〉が23年3月から取り組んでいる東日本大震災の支援活動に対し、3月11日付けで田村憲久厚労大臣から感謝状が授与されました。4月8日、神戸市役所で伝達式があり塚沢・南形徹理事が出席しました。

受賞理由は、①3次にわたって東北被災地に支援チームを派遣し、仮設住宅や小学校、保育園、児童館などでお年寄りや子供たちに寄り添い、元気づけたこと②女川第一小学校の児童ら23人を神戸に招待したこと③支援チームの体験報告会を開いて募金を集め、子供たちにクリスマスプレゼントを続けていること、などが認められたものです。

大臣感謝状は〈東日本大震災において障害者、高齢者、児童等に対し、身体的、精神的な生活環境改善のための人的または物的な支援等を行った団体〉で、厚労省局長らで構成する選考委員会の審査をクリアしたものに授与されます。今年1月

にシルバーカレッジを通じて打診があり、西田圭一理事長名で申請しました。

全国で行われている東北支援活動に対し大臣感謝状が授与されるのは今回が初めてで、兵庫県で23団体、全国では1458団体が受賞しました。グループ〈わ〉は23年4月、東北支援プロジェクトチームを発足させ幅広い活動を続けています。チームは芦田義和・海野龍英・南形徹の3理事を中心に運営。〈わ〉会員・現役にも委員を委嘱し、〈わ〉本部がバックアップしています。

松島秀明カレッジ事務局長の話「オールKSCでやってきた数々の東北支援活動が国に認められて良かった。被災地の復興はまだまだです。受賞を励みに、これからも息の長い支援を継続してほしい」写真=受賞を喜ぶ〈わ〉のスタッフ

福祉振興協会も受賞

市民福祉振興協会（しあわせの村）も23年3月から村内を中心に募金活動を展開。約3千万円を集めて支援物資を購入し、募集した応援メッセージと共に現地に届けたことなどが評価され、受賞しました。



第4次支援チーム 7月初め女川町へ 仙台・豊齢学園と協働で

グループ〈わ〉は、この7月に東北へ第4次支援チームを派遣しようと準備を急いでいます。今回は豊齢ネットワーク（仙台）と初めて協働で活動するほか、振興協会チームとも合同公演を行います。

日程は7月1日（月）～5日（金）の5日間。①仙台の七夕飾り講習会②軽スポーツのディスコン大会③手作り料理交歓会などを予定しています。訪問先は女川町の仮設住宅・同町体育館・仙台市六郷小学校・六郷児童館など。七夕飾り講習会とディスコン大会は豊齢側から提案があったもので、コーチ役も豊齢側が務めます。メンバーはKSCから6人程度。豊齢から

10人程度。別に振興協会も5、6人の音楽チームを派遣する予定です。今回は公的助成金のメドがつかず（3月末現在）、KSCチームは小規模となります。活動計画は来月中をメドに最終決定します。

【活動内容】 1日目の午後はディスコンの研修。ディスコンは15cm大の軽い円盤を投げ合うスポーツで、仙台周辺では盛んに行われているそうです。2日目は女川町の清水・新田の両仮設住宅で被災者の皆さんと仙台七夕のミニ飾りを作ります。3日目は女川町の体育館でディスコン大会。町民の皆さんが多数参加できるような方法で実施します。

4日目は2班に分かれ、A班は女川町の浦宿仮設住宅で料理作りの交歓会。神戸と仙台の自慢料理で交歓会をします。B班は仙台・六郷小と六郷児童館で振興協会チームと昔遊び・音楽などの合同公演。5日目は豊齢学園を訪問、今後の活動の打ち合わせーとなっています。（東北支援プロジェクト）